



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第29巻  
第12号) 購読要項・投稿規定・論文  
の訂正

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第29巻第12号) 購読要項・投稿規定・論文の  
訂正. 泌尿器科紀要 1983, 29(12): 1674-1675

ISSUE DATE:

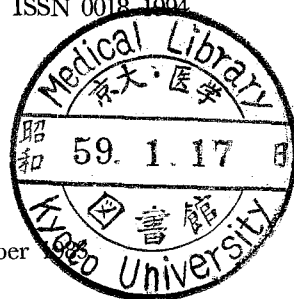
1983-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/120301>

RIGHT:

泌尿紀要  
Acta Urol. Jpn.



Vol. 29, No. 12 ACTA UROLOGICA JAPONICA December

# 泌尿器科紀要

第29巻 第12号 1983年12月

## 腎移植における細菌感染症の化学療法

付 最近の抗菌薬.....大越 正秋...1567

## 泌尿器科領域におけるホルモン・高分子担体複合体の研究

—特に前立腺癌治療への応用—.....山中 英寿...1579

## 尿酸カルシウム結石患者における尿中尿酸量におよぼす食餌の

影響に関する研究.....有馬 公伸...1587

睾丸腫瘍放射線治療後の晩期障害.....峰山 浩忠・ほか...1605

尿細胞診の臨床的検討 —膀胱腫瘍を中心に—.....根本 真一・ほか...1611

膀胱腫瘍に対する FAQ 療法.....打林 忠雄・ほか...1617

膀胱腫瘍患者における IgG-FeR<sup>+</sup> Tcell の比率について.....酒井 俊助・ほか...1625

## 排尿時膀胱尿道造影のための新工夫:

VCU ポットの試作.....荒木 徹・村田 善政...1631

## 尿路悪性腫瘍における Tissue polypeptide antigen (TPA) の検討

I. 膀胱腫瘍における血清 TPA の測定.....秋山 隆弘・ほか...1635

膀胱平滑筋腫の1例.....大前 博志・ほか...1641

## von Recklinghausen 氏病に合併した会陰部神経線維肉腫の1例

—化学療法を中心に—.....小角 幸人・ほか...1647

非外傷性腎被膜下血腫の1例.....打林 忠雄・ほか...1653

陰囊内臓器付属器(垂)捻転症の4例.....櫻井 秀樹・ほか...1657

Buschke-Loewenstein 腫瘍の1例.....尾崎 祐吉・ほか...1669

泌尿器科紀要29巻 総目次・物件索引・人名索引 .....i~xxxx

禁 帯 出

到着後 1ヶ月

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,

Kyoto University, Kyoto Japan 606

京都大学医学部泌尿器科学教室

## 購 読 要 項 (1983年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料 6,000 円 (送料とも) を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

## 投 稿 規 定 (1983年8月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
  - (i) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文 7 頁 (400字×28枚程度) 図 (Fig) 10枚、表 (Table) 5枚までとする。
  - (ii) 和文原稿は B 5 版 400 字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
  - (iii) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文、英文で併記する。下段に筆頭著者名 (山田：または 山田・ほか：) と、2 語 (例：前立腺がん・PSAP) からなる running title および 5 語 (英文) 以内の key words を付す。
  - (iv) 英文抄録：ダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
  - (v) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず) の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
  - (vi) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg,  $\mu$ g, %, °C, pH などとする。
  - (vii) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。とくに、著者校正時、表中の数字の訂正をされないように願います。様式については本誌の図・表を参照する。
- (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用個所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。  
(例：山田<sup>1,3,7)</sup>, 田中ら<sup>1,3~10)</sup>によると)  
雑誌の場合—著者名 (全員)：題名、雑誌名  
巻：最初頁～最終頁、発行年  
単行本の場合—著者名 (全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年
- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町 54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
- (8) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
- (9) 編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。
3. 掲 載
  - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
  - (2) 紙代、印刷費および最初 1 頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
  - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
4. 別 刷
 実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

編集委員：石神 襄次  
園田 孝夫

前川 正信  
友吉 唯夫

宮崎 重 新谷 浩  
吉田 修 (主 幹)

---

泌尿器科紀要 第29巻 第12号 1983年12月25日 印刷 1983年12月31日 発行  
発行 吉田 修 顧問 加藤 篤二 発行所 泌尿器科紀要刊行会  
〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室 電話 (075) 751-3327 (直通)  
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入

---

# 論文の訂正 ( 誤 )

本誌29巻10号1247～1253頁の吉田謙一郎・大島博幸の論文「思春期および成人停留睾丸患者の睾丸機能一下降側と停留側との比較一」における1249頁の Table 1 および1251頁の Table 4 に訂正箇所があり下記のごとく訂正します。

Table 1

Case	Age	Undescended side	Classification by Hiruma	Testicular Volume(ml)		Johnsen's score		Morphology of Leydig cells	
				descended	undescended	descended	undescended	descended	undescended
1	12	left	II	4.5	4.5	6.0	6.0	immature	immature
2	12	right	II	5.5	4.5	7.0	6.0	immature	immature
3	15	right	I	15.0	8.5	8.0	7.0	mature	mature
4	20	left	II	10.0	3.0	7.3	2.8	mature	immature
5	21	left	II	14.0	7.0	8.3	1.9	mature	mature
6	22	right	I	14.0	8.0	8.7	4.2	mature	immature
7	27	left	I	15.0	6.5	7.5	3.5	mature	mature
8	27	right	II	14.0	6.0	8.1	3.0	mature	immature
9	36	right	I	14.0	11.0	8.3	3.5	mature	atrophic
10	41	right	II	15.0	5.0	8.0	2.1	mature	immature

Table 4. Enzyme activities related to androgen biosynthesis

Case	$\Delta^3\beta$ -HSD		17 $\alpha$ -OHase		C <sub>17-20</sub> lyase	
	descended	undescended	descended	undescended	descended	undescended
1	3.7	5.4	9.1	11.0	—	—
2 <sup>2)</sup>	10.0	7.2	24.1	16.1	5.1	—
3	12.9	4.9	41.0	25.3	—	—
4	—	—	—	—	5.2	1.8
5	17.8	2.7	22.3	8.5	11.6	—
6	13.6	8.4	42.8	18.0	8.4	4.6
7	17.9	3.0	23.0	10.0	9.9	—
8 <sup>3)</sup>	5.6	1.1	31.1	12.1	9.0	3.7
9	7.8	7.4	24.8	18.8	11.1	—
10	10.4	2.8	32.4	9.6	—	—

1): nmoles/20 min/testis

2): 基質の pregnenolone 量 1  $\mu$ g, hCG 1,000 IU/day $\times$ 3 days.3): 基質の pregnenolone 量 1  $\mu$ g